



さらに、アドエルムは、アパレル用途にとどまらず、医療・ヘルスケア分野への展開を見据え、医療機器認定の取得も進めており、リハビリ領域においても有効的に活用できるポテンシャルを有しております。加えて、子どもからビジネスワーカー、高齢者に至るまで、それぞれの世代が抱える課題解決に資する幅広い機能性商品を提供できる基盤を有しており、社会全体に新たな付加価値を創出していくことを目指しております。

当社はアドエルムをグループに迎えることで、従来のアパレル事業の枠を超え、革新的なパフォーマンスウェアやリカバリーウェア、さらには機能性繊維を活用した異業種展開を積極的に推進し、グループの事業ポートフォリオを大きく拡充してまいります。

## 2. アドエルムの基盤技術と知的財産の戦略的価値

### ■ 次世代繊維技術の体系

アドエルムは、複数の鉱物ミネラルを粉末化し、繊維中へ分散させることで、①光学・熱放射特性の制御(近赤外の透過、可視・UVの遮蔽、遠赤外の放射バランス等)、②皮膚受容器への微弱刺激を同時に設計し、衣服内の微気候(温度・湿度・熱放射)と感受性の両面から、着用者の交感神経および副交感神経に作用し、覚醒度・集中度・筋活動の質・リラックス感などに良好な変化が期待される状態を目指します。

素材プラットフォームは用途別に配合を切り替えるモジュール設計で、概ね「睡眠・リカバリー(add.00)」「リラックス・日常(add.01)」「アクティブ・業務(add.02)」「ブースト・競技(add.03)」の4系統を展開しています。これにより、同一ブランド内で時間帯・目的に合わせたライン構築が可能となり、ユーザーのライフサイクル全体で体感価値を積み上げる新たなアプローチとなります。

### ■ 知的財産(IP)の戦略的価値

本件の戦略的価値は、アドエルムが長期にわたり多額の研究投資で構築した知的財産にあります。以下の要素が相互依存的に最適化され一体として運用されることにより、優位性や置換困難性が生まれています。

#### ・成分配合レシピ(Recipe)

鉱物ミネラルの比率・粒径分布・分散剤設計の最適化を実現。機能と縫製適性に合わせたマテリアルの選定から配合のバランスを用途別にデータベース化。

#### ・製法・工程(Process)

紡糸条件・後加工・樹脂設計など、レシピの再現性と量産安定を担保する運用パラメータ群。

#### ・評価・測定(Measurement)

従来の生地物性に加え、心拍・筋活動・集中度等の人体側アウトカムを用いた評価プロトコルと指数化手法。

このRecipe × Process × Measurementの三位一体の知財体系により、第三者が要素を部分模倣しても同等の再現性・量産性・体感設計に到達することは困難です。

当社は、アドエルムが長年にわたり多額の研究投資を通じて確立してきた機能繊維技術の中核知財(配合レシピ、粒径・分散制御、製造条件、用途別ブレンド、評価指標・測定プロトコル、ブランド関連資産等を含む)に企業価値を見出しています。これらは単一特許に留まらず、相互に依存する複数の技術要素が体系化された"入替・模倣が極めて難しい"ポートフォリオであり、研究開発の蓄積とノウハウの結合価値に特徴があります。

アドエルムの子会社化により、当社は、睡眠・日中・競技といった用途別に次世代繊維を用いた糸、生地、プロダクトを速やかに量産展開する自由度を得るとともに、内製化と更なる研究開発の加速が可能になります。当該知財は、製品差別化、粗利率の改善、ライセンスング機会の創出等を通じ、当社の中長期的な企業価値向上に資する戦略資産と認識しています。

### 3. 子会社化による戦略的メリット

アドエルムを子会社化することによって期待される主なシナジーは以下のとおりです。

#### a. 次世代ウェアの創出

アドエルムの世界最高水準の機能性繊維を活用し、スポーツ・アウトドア・ライフスタイル領域において革新的なパフォーマンスウェアやリカバリーウェアを開発・商品化することで、新しい市場価値を創造します。

#### b. 異業種・ヘルスケアへの応用展開

医療・フィットネス・睡眠改善・リラクゼーション関連分野など、従来のアパレル事業を超えた産業領域への応用を実施します。特に、医療機器認定取得を進めており、リハビリ領域においても有効的に活用できる可能性があり、医療・ヘルスケア市場での展開が本格化することで、新たな成長機会を獲得します。

#### c. 新商流の拡大と事業機会の創出

研究開発フェーズを終え商用化を進めることにより、商社・繊維企業・ドラッグストアとの取組みが拡大します。OEM/ODMと段階的ライセンスを組み合わせることで、新たな事業機会の創出を目指します。

#### d. 世代横断的な市場対応

アドエルムの技術を活用した商品は、子供の発育支援からビジネスワーカーの疲労回復、高齢者の生活の質向上まで、幅広い世代の課題解決に対応できるものであり、社会的意義と市場性の両面で高い価値を創出します。

#### e. EC・リテールの強化

当社グループの全国店舗網およびEC基盤を活用し、先進的な機能性商品を消費者に直接届けることで、差別化された商品ポートフォリオとEC化率の一層の向上を実現します。

#### f. グローバル展開の加速

ISPO受賞実績をはじめとする国際的評価を背景に、アドエルムの素材技術を海外市場へ展開し、当社グループのアジアを中心とした販路と連動させることで、国際的なプレゼンスを強化してまいります。

### 4. 当事会社の概要

	項目	完全親会社	完全子会社
(1)	名称	ジーエット株式会社	AddElm TECHNOLOGY株式会社
(2)	所在地	東京都杉並区梅里一丁目7番7号	東京都渋谷区神宮前2丁目32番11号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石野 孝司	代表取締役社長 藤崎 大
(4)	事業内容	衣料品および雑貨商品の販売、投資事業	テクノロジーを活用したファッションアイテムの開発・販売
(5)	資本金	100,000,000円 (2025年2月末日現在)	321,500,100円 (2025年6月末日現在)
(6)	設立年月日	1990年6月1日	2007年7月3日

(7)	大株主及び持株比率	G Future Fund 1号投資事業有限責任組合、トラストアップ株式会社 28.26% BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY 8.40% 株式会社SBI証券 7.23%	個人株主(注) 24.35% マリングロース株式会社 12.15% ジーエフホールディングス株式会社 9.00% 株式会社COMPLETE FELLOWS 9.00% 株式会社マナ 9.00% 個人株主(注) 8.10% 山梨中銀地方創生投資事業有限責任組合 7.21%
(8)	上場会社と当該会社との間の関係		
	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません	

(注) 個人株主の氏名については、個人情報保護の観点から公表を控えさせていただきます。

(9) 最近3年間の経営成績および財政状態

決算期	ジーエット株式会社			AddElm TECHNOLOGY株式会社		
	2023年 2月期	2024年 2月期	2025年 2月期	2023年 6月期	2024年 6月期	2025年 6月期
純資産 (千円)	3,858,291	2,707,158	1,234,485	82,723	201,394	△132,311
総資産 (千円)	10,755,195	8,375,123	7,303,588	206,119	368,451	381,699
1株当たり 純資産(円)	249	175	79	—	36,241	23,809
売上高 (千円)	18,443,392	15,409,427	13,119,142	145,676	75,597	142,647
営業利益 (千円)	△726,188	△910,806	△1,213,814	926	△322,325	△296,338
経常利益 (千円)	△617,932	△854,714	△1,161,845	△136	△315,274	△328,474
当期純利益 (千円)	△1,056,633	△1,151,330	△1,472,623	△9,301	△340,315	△333,705
1株当たり 純利益(円)	△68	△74	△95	—	△71,023	△60,051
1株当たり 配当金(円)	—	—	—	—	—	—

(単位：千円 特記しているものを除く)

5. 取得の方法

現時点においては、株式譲渡、株式交換、または第三者割当増資の引受による取得等、複数のスキームを対象に協議中です。最終的な取得方法については、今後の協議・精査を経て確定いたします。

## 6. 日程

項目	日程（予定）
（1）取締役会決議日	2025年10月6日
（2）基本合意書締結日	2025年10月6日

## 7. 今後の見通し

今後、当社は、アドエルムとの詳細協議を進め、最終契約の締結および子会社化の手続を進めてまいります。最終契約の締結に至った際には、速やかに開示いたします。

以上